

■ 4 - そう思う □ 3 - どちらかといえば、そう思う □ 2 - どちらかといえば、そう思わない □ 1 - そう思わない

学校教育目標

1 教育方針・目標の理解	2 意欲的な学校生活	3 教師の連携協力
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。	子どもは、充実した学校生活を送っていると思いますか。	学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。

【学校から】  
 (1) 三者とも肯定的な回答が9割程度であった。学年、学級通信、懇談会や各種会合等を通じて周知を図るようにしている。さらなる周知徹底に努めたい。  
 (2) 三者ともおよそ9割が充実していると回答しており、良好な状況である。あとの1割の生徒の課題を把握し、より一層の充実を図っていききたい。  
 (3) 保護者は9割ほど肯定的であるが、教職員は8割にとどまっている。教職員の連携協力体制づくりへの意識向上を図る働きかけを行っていききたい。

4 授業づくりの工夫	5 意欲的な学習態度	6 総合的な学習の時間の充実
先生方は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。

【学校から】  
 (4) 教職員に比べ生徒と保護者の割合がやや低い。教職員の努力がもっと伝わるように工夫したい。  
 (5) 生徒や教職員に比べ保護者の割合がやや低くなっている。保護者は、生徒にもっと意欲的に学習に取り組んでいる姿を見せて欲しいと願っていることがうかがえる。授業改善の取組を推進したい。  
 (6) 肯定的な回答が三者とも8割程度あり、概ね良好な状況と言える。さらに探究的な学習が充実するように、指導計画の改善を進めたい。

7 道徳、心の教育の充実	8 あいさつ、礼儀の励行
学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。	子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。

【学校から】  
 (7) 生徒や保護者に比べ、教職員の割合がやや低くなっている。教職員はもっと道徳教育、心の教育を推進させるべきだと考えているようである。さらに生徒の心に響く指導の充実に取り組んでいきたい。  
 (8) 生徒や保護者に比べ、教職員の割合がかなり低くなっている。ここに両者の意識のずれが認められる。このずれを解消するために、あいさつの実態を的確に把握し、生徒と教職員があいさつに関する課題について共通理解を図りながら実践化していくようにする。保護者や地域を巻き込んだあいさつ運動を展開していききたい。

9 一人一人の生徒の尊重	10 友だちへの思いやり	11 学校の支援体制
学校は、一人一人の子どもを大切に指導や対応ができていると思いますか。	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

【学校から】  
 (9) 一人一人を大切に指導を受けているという実感がもっと持てるように努力していききたい。  
 (10) とても仲よくしていると思っている割合が、生徒や保護者に比べて教職員がかなり低くなっている。生徒の人間関係をさらに良好なものにしていくよう働きかけていきたい。  
 (11) 肯定的な回答が8割を超えており、概ね良好な状況である。今後もさらに特別支援教育の視点からの教育の充実に取り組んでいきたい。

生徒指導 教育相談

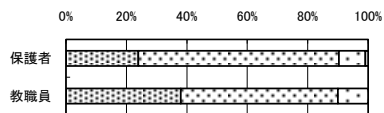
12 生徒理解	13 規範意識	14 いじめや問題への対応
先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	子どもは、規則やマナーを守っていると思いますか。	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

【学校から】  
 (12) 教職員に比べ、生徒や保護者の否定的な回答がやや多い。より一層の子ども理解に努め、生徒や保護者の肯定的な割合を高めていきたい。  
 (13) 生徒や保護者に比べ、教職員の割合が低くなっている。これは教職員が生徒の規範意識をもっと高めていきたいという意識の表れであると思われる。  
 (14) 生徒や教職員に比べ、保護者の割合が低くなっている。保護者との連携協力をさらに深めるよう工夫し、連絡、相談を密にしていきたい。

## 健康教育 安全

### 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



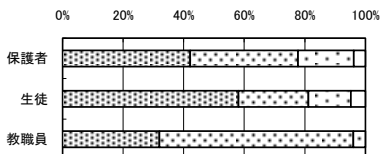
【学校から】

(15) 両者とも9割程度が肯定的な回答をしており、良好な状況である。安全点検、安全指導の充実を図り、さらなる事故防止に努めたい。

(16) 部活動に入っていない生徒の意識が高まるように、保健体育の授業を充実させ体力向上を図る。

### 16 体力向上

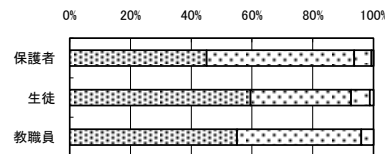
子どもは、すすんでスポーツなどをしていると思いますか。



## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、体育大会や文化・学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。



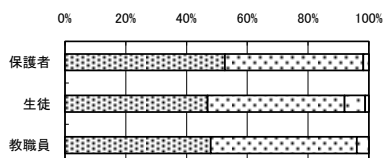
【学校から】

(17) 三者とも肯定的な回答が9割を超えている。本校には、学校行事で生徒が育っていく伝統があり、充実した教育活動が展開されている。

## 学校環境

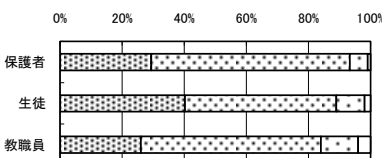
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。



【学校から】

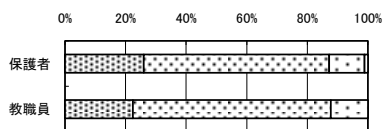
(18) 本年度は花壇等の緑化関係の環境整備が進んでいる。三者とも9割を超える肯定的な回答を得ることができた。委員会活動、部活動の生徒たちが自主的に環境美化活動に取り組んでいる。

(19) 本年度は、校舎の耐震化工事が行われている。工事区域や工事用車両等の事故がないように、事故防止に努めているところである。安全点検等を適切に行い、施設の安全管理に十分配慮したいと考えている。

## 情報の公開・発信

### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



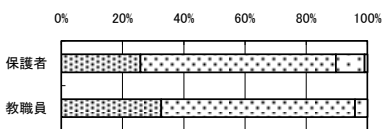
【学校から】

(20) 学年学級通信、PTA新聞、学校ホームページ、各種広報紙等によって情報提供に努めている。

(21) 二者とも9割程度の肯定的な回答を得ており、良好な状況である。学校行事等に熱心に参加している保護者が多い。PTA行事や地域の行事への参加についてもさらに働きかけていきたい。

### 21 教育活動への参加

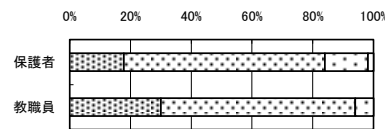
学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。



## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



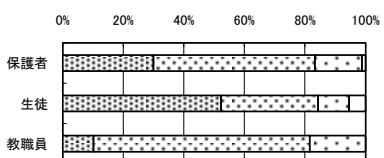
【学校から】

(22) PTA行事や地域の行事には参加協力する意識が高まっている。また、地域の各種団体の行事や会合には教職員も進んで参加している。

## (学校独自)

### 23 夢や希望をもって

子どもは、夢や希望をもっていますか。



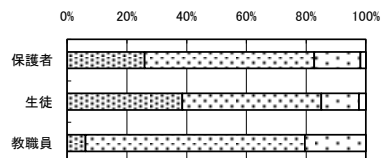
【学校から】

(23) 三者とも8割程度が肯定的な回答をしている。今後はあとの2割弱の生徒が夢や希望をもてるように進路学習をはじめ夢や希望を育む指導の充実を図ってきたい。

## (学校独自)

### 24 自分をあきらめない

子どもは、自分をあきらめず、粘り強く取り組んでいますか。



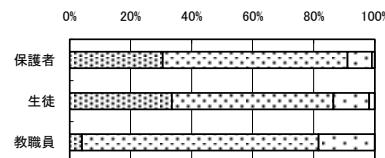
【学校から】

(24) 三者とも肯定的な回答がおおよそ8割程度の状況である。生徒が成就感や達成感を味わえるような活動を工夫し、何事もあきらめず粘り強く取り組んで育成との育成に努めていきたい。

## (学校独自)

### 25 心ある行動

子どもは、思いやり、勇気、責任などの心ある行動をとっていますか。



【学校から】

(25) 保護者は9割、生徒、教職員は8割以上の肯定的な回答を得ている。しかし、日々の生活の中ではしばしば心無い行動が見られることもあるので、生徒の心を耕す指導を充実させていきたい。

## 来年度の具体的な取り組みについて

- 豊かな心の育成
  - ・緑化活動、清掃活動を中心に学習環境の整備に努め、体を動かし、額に汗する体験的活動の充実を図る。
  - ・命を大切にす態度や思いやりの心を育てる道徳教育を推進する。
- 学力の充実
  - ・わかる授業からできる授業への転換を図り、校内授業研究を充実させ、授業改善を推進する。
  - ・目標達成テストを実施し、基礎基本の定着を図るとともに、学習意欲、成就感の育成を図る。
  - ・特別支援教育委員会を中心に、個人カルテの作成と活用にも努め、個に応じた指導の充実を図る。
- 健やかでたくましい心身の育成
  - ・体育的行事や部活動を通して、体力の向上、耐性の強化、友情の育成を図る。
- 生徒指導と基本的な生活習慣の確立
  - ・方策を立て、手立てをうち、かかわりを持って指導にあたる。
- 校内指導体制の充実

## 学校関係者評価

- 授業参観等で生徒の様子を見ているが、大変落ち着いた学習に取り組んでいるようだ。教室内がよく整理整頓されており、トイレもきれいに使用されている。生徒たちに公共の意識が育っており、健全な生活環境が保たれていることがよく分かった。
- 地域においても帯山中学校の評判がよい。学習、生活、部活動等において学校が熱心にかんがっているからだと思う。
- 地域では、あいさつ運動を推進している。あいさつは、コミュニケーションの基礎でもあり、校内、校外にかかわらず、いつでも誰とでも気持ちよくあいさつの交わせる生徒になってほしい。今後も校区を挙げて、取り組んでいきたいと思っている。
- 自己評価の結果の中に、保護者、生徒と教職員の数値にずれが見られる項目がある。保護者や生徒は自分のこと、教職員は全体のことを考えて回答しているからかもしれない。また、アンケートの際にもっと細かい場面を限定して質問すると精度が高まるのではないかと感じた。
- 特別支援教育への取組はこれからますます重要になってくる。教職員の人的配置を含め、充実が図られるように願っている。
- 生涯にわたって必要な力として、文章力が挙げられる。社会人として痛感していることである。中学校の学習の中で、一人一人の生徒に、ぜひ文章力を身に付けさせてほしい。必ず将来役に立つ。
- 部活動の加入率、通塾状況等はどうか。放課後の有意義な過ごし方、ゆとりの確保について社会全体で考えていかなければいけないと思う。